



かいがんちほう ないりく くら なつ ふゆあたたか 海岸地方は内陸に比べて夏すずしく、冬暖かいのはなぜ

うみ えいきょう う 海の影響を受けるから

うみ みず は、あたたか さ せいしつ ないりく りくち つち がんせき
海（水）は、暖まりにくく、冷めにくい性質があります。内陸（陸地）は、土や岩石な
どでできているので、海よりも暖まりやすく、冷めやすい性質があります。このような性質
のちがいがあるので、おなじりょう たいよう ねつ う うみ ないりく あたたか かつ
同じ量の太陽の熱を受けても、海と内陸では、暖まり方にちがい
あります。

なつ たいよう ねつ う うみ ないりく おんど たか かいがんちほう
夏は、太陽の熱をたくさん受けて、海よりも内陸のほうが、温度が高くなります。海岸地方
は、うみ えいきょう おお う ないりく くら きおん たか なつ
海の影響を大きく受けるので、内陸に比べて気温が高くなり、夏でも、わりあいす
ずしくなります。

ふゆ たいよう う ねつ すく ないりく ひ うみ
冬は、太陽から受ける熱は少なくなり、内陸はどんどん冷えていきます。ところが、海は、
なつ あたたか じょうたい さ かいがんちほう うみ えいきょう う ふゆ あたたか
夏に暖められた状態から、なかなか冷めません。海岸地方は海の影響を受けて、冬でも暖
かいのです。

ひるま うみ よる りくち かぜ 昼間は海から、夜は陸地から風がふく

かいがんちほう ひるま うみ りくち かいふう よる りくち うみ りくふう
海岸地方では、昼間は海から陸地に海風がふき、夜は陸地から海に、陸風がふきます。こ
の二つの風をあわせて、かいりくふう
海陸風といいます。

かいりくふう うみ りくち あたたか かつ かぜ きおん ひく
海陸風は、海と陸地との、暖まり方のちがいによって起こります。風は、気温の低いほ
うから、高いほうへ向かってふきます。ひるま りくち きおん たか かいふう
昼間は陸地のほうが気温が高くなるので、海風がふ
き、よる うみ おんど さ りくふう
夜は海の温度が下がりにくいので、陸風がふくのです。（監修・村山 貢司）

